

物理学科同窓会会員の皆様へ

(物理学科同窓会メールサーバーのメンテの関係で、今回に限り、事務局 井上の大学アドレスからお送りしています)

埼玉大学物理学科同窓会メール通信第55号をお送りします(理学部同窓会通信として)。また間を開けてしまいましたが、昨今のウイルス関連での大学内の様子を記します。きちんと受信できない方、希望されない方、アドレス変更される方はお手数ですがご連絡くださいませ。ninoue@mail.saitama-u.ac.jp

物理学科同窓会のHPを以下に運用中です。まだ内容うすくて済みません。

<http://alumni-saitama-sci.jp/>埼玉大学物理学科同窓会/

近況報告、スナップなど頂戴できれば、幸いです。このメール内容に加えて、HPでは写真を追加して親しみやすく掲載していますので、ご覧下さい。

理学部同窓会通信 20200502

理学部同窓会会員の皆様

理学部同窓会通信も大分、間を空けてしまいました。言うまでもなく昨今のCOVID-19騒動は、従来のインフルエンザ感染を踏まえながらも、あらゆる人の心に強弱の差はあれ暗い影響を与えているものと思います。そんな中ですが、この3月から4月にかけてとこの先5月に渡っての埼玉大学の様子についてお知らせします。自己コントロールしないと、思うところ合ってグズグズ多面的に書いてしまいそうなので、箇条書きのようにとりまとめて参ります。

(1) 3月の様子(入試)

大学個別入学試験後期日程は3月半ばにスケジュール通りに行われました。担当教職員とも、相当ピリピリとした各種の配慮のもとでそれを迎えましたが、合格発表・入学手続き含めて、3月末までに無事に終了しました。

(2) 3月の様子(研究)

通常3月半ば以降に、各学問分野の国内学会が開催されますが、ほぼ全て「開催会場」での催しは中止、学会発表申し込みはすでに終わっていましたので、(物理学会の例では)学会発表時の講演者資料の提出=WEB掲載を持って「発表されたものと見なす」として、形式的には学会発表を行った、ということで処理されました。

(3) 4-5月の様子（令和2年度学年歴）

いろいろありまして、結局授業開始が4月27日（2週間遅れ）と決定され、入学式はなし、一方で、前期授業終了時期は変更なしと決まりました。前期授業回数が2回分減りました。加えて、昔から皆さんおなじみの？90分授業が（今年だけ）80分授業になりました（昔は1-2限、3-4限、5-6限・・・として45分を1時限としていたのです）。そして、授業形態は前期についてはネットを使つての遠隔授業とすることに決まりました。

(4) 4-5月の様子（授業・サークル活動など）

非常事態宣言に合わせて学生の大学構内入構が原則禁止（当初は5月6日まで）となり、これは延長され6月初めまで続くことになりました。授業は上記の自宅聴講となり、いろいろなネット接続方法がありますが、本学ではZOOMシステムを用い、加えて従来から使用してきた教務システムのWEBCLASSを活用することし、それらの試行を経て4月27日から運用を始めてます。個人的にはどうも勝手が悪いところでして、学生さんが目の前におらず、顔も見えない（画面上に見せるように強制もできるのですが）ので、ちゃんと聞いているのかしら、という不安と（自分も学生だったら、という正直な気持ちもありますが）、寝っ転がって、食事なんかしながら聞いているんじゃないだろうな、とかいう思いも打ち消して授業を行っているところです。またサークル活動は大学内外の場所・機会を含めて活動中止となっています。社会活動の自粛でのアルバイト機会の減少は、それで授業料や生活が成り立っている学生（特に留学生）には打撃のようです。

(5) 4-5月の様子（教職員など）

8割接触減のもとに在宅勤務が積極的に取り入れられています。教員の平日の出勤率は27日以降は50%くらい、職員の方は30%くらいかと思います。都内の大学では教職員の原則入構禁止がとられているところもあるそうですので、まだ扱いは緩いところでしょうか。埼玉大学生協という、福利厚生と営業客数との関連で悩みどころ多々あり、大学側との協議を重ねて、結局、非常事態宣言期間中は食堂・購買事業は中止になってます。ただ、新学期でもあり、教科書販売はWEB受注と宅配販売で学生さんの授業に滞りないよう、でも結果として、従来に比べて手間と諸経費がかかる作業がGWいっぱい続いているところです。また研究教育関連物品の注文・購入は常時受け付けており、学内配送で届けてるところです。埼玉大学では、と申し上げますが、他大学でも同じかこれ以上の苦悩をもって、新学期を迎えているところかと思います。事はウイルスを源にしているものであり、皆様含めて理系卒業生ならでは、生物学的、もしくは科学的な数値評価から、いろいろなご意見などがあることと思います。早いところ指数関数的に新規重症患者の方の数が減少していき、あるthreshold、pedestalレベルに達することを祈るところです。あらゆる身の回りのリスクをそれぞれゼロにできないのが社会生活ですが、「最新の注意」はその場その場でできますので、運不運も併せ持つことにもなりますが、皆様自身の健康管理に期待いたします。何事も、

「我慢」の後の「解放」は必然で、いつかしら自由が満喫できる時期が来るものですので、お元気でお過ごしくださいませ。とりいそぎ。。

PS 理学部同窓会としては、現在の事態に関わる学生に向けた支援がやはり課題と感じているところです。各大学に対して、個別の学業・生活支援の検討が文科省から求められているところです。埼玉大学での取り組みを注視し、今後また皆様へはご協力の連絡が行くかと思いますが、大学とも協力しつつ理学部同窓会としての役割を果たしていければ、と思います。その節はご協力をお願いいたします。

文責：物理 井上